

## 第3次稚内市総合計画 施策実施状況調査

### 01 市民に開かれたまちづくり

#### 04 計画行政の推進

#### 02 総合計画の推進

主要施策	施策実施状況(※1)						問題点、課題
	実施状況	進捗率		第4次の方向性	小項目の総合的評価		
		(%)	ペース		評価	評価内容	
20 庁内横断的調整機能の強化 (政策経営室)	4	80%	2	4	2	<p>・総合計画の推進を評価するときには、職員がどのくらい総合計画を意識し施策等を企画実施するかであり、今までを振り返ると反省すべき点は多々あったと考える。現在、第3次総合計画の検証を進めているが、本市の人口減少が進む中で、第3次において、設定された施策においては、成果として現れているものやなかなか成果として現れていないものなど混在している状況である。</p>	<p>・総合計画の位置付けが、市民や職員にあまり理解がされておらず、計画そのものの認識が大変希薄であった。個々の施策や事業が何の目的で実施されているのか理解されずに行なわれていることが時にあったのではないだろうか。目指すべき将来の本市の姿であった基本構想の実現に向って、様々な基本計画等があることから、職員は最上位計画である総合計画を日常的に意識し行政運営を行う体制作りが必要である。</p> <p>・次期総合計画の策定に当たっては、基幹産業の衰退や少子高齢化社会の進展により、人口減少社会を的確に捉え、それを見越した計画づくりを市民と協働により創り上げることが重要であり、計画実施においても市民の理解と共に着実な執行体制を構築する必要がある。</p> <p>・総合計画の施策、実施計画事業に目標指標の設定を行い、その指標に基づき行政評価の結果で、施策、事業の見直し等を行い予算編成に反映していくマネジメントサイクルの確立を目指している。</p>